

# ワクワクと “できる喜び”で、一步前へ

—— 特定非営利活動法人 ITサポート 銀のかささぎ



銀のかささぎは、8年前より児童相談センターや児童養護施設でICT学習支援活動をしており、Pepperには子どもの貧困対策として開始した「子ども食堂」で“ボランティア先生”になってもらいました。成功体験が少なく、褒められる喜びや人とのふれあいを求めている子どもたちの学習をサポートし、励ますことで、子どもたちのやる気を育て、学習への意欲を駆り立てることになるのではという期待からです。

今では、地元の観光案内をテーマにしたPepperのプログラミング教室も行っています。子どもたちが名所を巡り、観光ガイドとしてまとめ、Pepperで発表するというものです。子どもたちが郷土愛を育むとても良いきっかけになりました。

## 楽しんで学べるから、 できることがどんどん 増えていく

プログラミング教室には、児童養護施設の子どもたちも参加してくれていました。なかでも毎回熱心に参加してくれていた中学1年生の男の子は、家庭や施設で問題がありがちだったのが、勉強や生活、友達関係に前向きに取り組めるようになったとのことでした。

また、特別支援学級に入っている中学1年生の女の子が、Pepperとのふれあいによって、うまく人と話ができるようになったというケースもありました。この女の子は、知的理解が難しい子どもでしたが、パソコンのローマ字入力をマスターし、簡単なプログラミングまでこなせるようになったのです。

さらに、Pepperを活用した子どもたちへの学習支援の輪は地域に広がっています。定期的に近所の子どもたちを集めて寺子屋学習会をしている長野市内のお寺で、ICT学習支援をしました。これは、銀のかささぎの活動に興味を持った住職さんから「Pepperを使った学習を是非お寺でしてほしい。」と依頼を受けたことがきっかけで実現しました。

当日は、本堂でお経を聞きながら座禅を組み、気持ちを整えます。そして、iPadで学習をした後、Pepper Makerというプログラミングのロボアプリを使って効果音や画像、セリフを組み合わせPepperを動かして楽しんでいました。ICTが初めての子どもたちも、あっという間にやり方がわかり、どんどんチャレンジしてくれました。



こうした活動を通し、学力に困難なことが多かった子どもが、Pepperを通じて、楽しみながら勉強できるようになったり、子どもたちがPepperを通して明るい未来を想像できたことは大変意義深いものです。